



---

## はじめに

---

2012年度は、東京都の環境確保条例（都民の健康と安全を確保する環境に関する条例）にて、大規模事業所に対するCO<sub>2</sub>排出総量の削減が義務化されてから3年目となる年であり、当社は準トップレベル事業所として、2010～2014年度の第一計画期間に基準排出量24,218トン（2002～2004年度平均）の6%削減が義務付けられております。

震災により原子力発電所が稼働停止して以降、夏の電力需給状況は厳しく、2012年度においては電力使用制限令の発動はなかったものの、東京電力管内においては無理のない範囲での節電要請が打ち出されました。当社では、お客様の定着した節電意識による熱需要の減少が続く厳しい状況の中、電力・ガス使用のベストミックス運転に努め、CO<sub>2</sub>排出量を削減してまいりました。

また、オフィス活動においても前年度に引き続き、事務所の節電、PPC用紙の削減、ゴミの分別収集の励行に取り組みました。PPC用紙の使用量は目標数値を超過してしまったものの、事務所の節電、ゴミの分別収集の励行は一定の成果をあげることができました。

# 2012年度（平成24年度）の取り組み状況

## 1. 熱供給事業環境部会

東京電力管内では、2012年度の夏における電力需給対策について、無理のない範囲での節電要請がありました。そういった中、当社においては、お客様の定着した節電意識による熱需要の減少で機器の低負荷運転が余儀なくされ、効率運転をするうえで大変厳しい状況でしたが、綿密に立てた計画に基づき運転を実施してまいりました。

熱製造量が減少したことに加え、効率運転に努めたことにより、CO<sub>2</sub>排出量を削減することが出来ました。

### A. 投入エネルギー量

#### ●電力とガス

投入エネルギー (GJ)	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
	378,060	386,593	346,476	344,854
	100%	102.3%	91.6%	91.2%

#### ●上 水

水資源投入量 (m <sup>3</sup> )	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
	165,386	171,153	144,280	143,643
	100%	103.5%	87.2%	86.9%

#### ●（参考）熱製造量の推移

熱製造量 (GJ)	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
	392,703	407,156	347,894	347,287
	100%	103.7%	88.6%	88.4%

### B. 温室効果ガスの排出とボイラー排水

#### ●二酸化炭素の排出量

CO <sub>2</sub> 排出量 (t-CO <sub>2</sub> )	基準排出量	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
	24,218	17,288	17,437	15,807	15,723
	100%	71.4%	72.0%	65.3%	64.9%

二酸化炭素以外に温室効果ガスとして、ハイドロフルオロカーボン（23,571 kg）と六フッ化硫黄（952 kg）を冷媒・絶縁材として扱っていますが、機器内部に適切に封入管理されております。

●下水道への排水量

排水量 (m <sup>3</sup> )	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	20,764	17,713	16,610	16,641
	100%	85.3%	80.0%	80.1%

●(参考) ボイラー排水水質基準と排水水質実績

区 分	PH	排水温度
東京都下水道条例 (基準値)	(5 を 超 え 9 未 満)	(45℃未満)
2012年度 実 績 値	6.6~7.8	34~37℃

C. その他の環境負荷物質

●P R T R法における第一種指定化学物質

ヒドラジンを使用していますが、排出はされません。(ヒドラジンは水と窒素に分解)

化学物質名	使用月	使用量 (kg)	使 用 目 的
ヒドラジン	7月/3月 (合計)	188 / 323 (511)	冷凍機冷却水系のスライム剥離 およびチューブの改質処理

●ボイラーのばい煙

施設名	測定月	排ガス温度 (°C)	窒素酸化物(ppm)	ばいじん濃度(g/m <sup>3</sup> N)
		基準 : 170 以下	基準 : 30.5以下	基準 : 0.05以下
BW-1	8月/2月	105 / 88	25 / 22	測定せず※
BW-2	8月/2月	90 / 98	20 / 22	測定せず※
BW-3	8月/2月	94 / 103	19 / 20	測定せず※

※大気汚染防止法施行規則第 15 条ばい煙排出者の測定義務について、ガス専焼ボイラーのばいじん濃度測定頻度は 1 回 / 5 年となっているので 2012 年は実施しておりません。



## 2. オフィス活動環境部会

### ■事務所の節電

・不使用時のコンセント抜きの徹底 ・昼休み時間帯の消灯 ・不要箇所の消灯  
・蛍光灯の間引き点灯 ・パソコンの休止モードの徹底 ・省エネ機器への更新  
等を実施しており、電力使用量は 16,149 kWh と、2011 年度の 19,761kWh よりも 3,612kWh の削減となりました。

### ■PPC用紙の削減

・裏紙利用の促進 ・電子媒体へのシフト ・複写機の機能活用  
等を進めましたが、PPC用紙の使用量は 80,500 枚の使用と、2011 年度の 87,500 枚よりも 7,000 枚の削減となりました。

### ■グリーン購入

グリーン購入作業基準に従いグリーン商品への切り替えの促進を図りました。  
2008 年度から 2011 年度まで導入した 140 品目に加え、2012 年度は 10 品目を新たに導入いたしました。

### ■ゴミの分別収集・廃棄

ゴミの収集については、ワールドインポートマート棟のゴミ処理フローに合わせ、7 種類（可燃物・不燃物・ビン缶・ペットボトル・生ゴミ茶殻・リサイクルペーパー・再生品）に分別して廃棄いたしました。

### A. 事務所の電力使用量

電力使用量 (kWh)	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	24,328	22,685	19,761	16,149
	100%	93.2%	81.2%	66.4%

### B. PPC用紙の使用量

PPC用紙 使用量(枚)	2009 年度	2010 年度	2011 年度	2012 年度
	61,500	94,000	87,500	80,500
	100%	152.8%	142.3%	130.9%

